

## 2019 年度 6 月野鳥と自然観察会 報告

日 時	2019 年 6 月 22 日 10 時 35 分～12 時 50 分		記録者 北浦きし子
探鳥地	穂高湖周辺		
参加人数	在校生 14 名	堀池顧問	総計 15 名 天候 曇り時々晴れ
観察コース	摩耶ロープウェイ星の駅～天上寺～穂高湖		
観察概要	<p>今日は一年で一番昼の時間が長い夏至。集合場所の摩耶ケーブル駅には元気なシニアの長い列ができた。ケーブルの便が増発されたが、駅で取り残される会員が出た。2 便遅れで摩耶ロープウェイ星の駅で車組と合流。</p> <p>ホオジロがマツの木のでっぺんで、待ってましたと出迎えてくれた。</p> <p>天上寺の境内にある一願地蔵堂の屋根の宝珠飾りの上でキセキレイが美声を披露。キセキレイはじっとしていることが少ないのに、この鳥は長く鳴く。自分の声に聞きほれ足もとがゆるみ、慌てて宝珠を掴み直していた。鳥も歌えば足が滑る。</p> <p>天上寺のキセキレイと別れ、車道を穂高湖へ向かう途中、山側の雑木林の中からけたたましい声。それは、地鳴き、さえずりでもない、托卵を警戒する声。猛スピードで車がカーブに突っ込んだような鳴き声であった。</p> <p>先へ行くと、巣立ったばかりの子スズメが、親スズメが嘴にくわえたエサを、頂戴ちょうだいと羽をプルプル震わせ、エサをねだる愛らしい仕草を目にする。スズメの兄さん、姉さんの姿が見えず、末っ子が親を独り占めしているようだった。</p> <p>穂高湖第 1 幕。2 羽のカワセミが湖面に突き出た枯れ木と湖面に張り出した木の枝の間を行きかいコバルトブルーの羽が輝く。</p> <p>第 2 幕。1 羽のカワセミが岸の近くまでやってきて、水中に勢いよく突っ込み魚をくわえて出てきた。魚を枝にぶつけて殺してから頭から丸のみ。カワセミのプリンスが目の前を飛翔する度に歓声が上がった。</p> <p><b>【観察できた鳥】</b> カワセミ、カワラヒワ、キセキレイ、シジュウカラ、スズメ、ツバメ、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、ヤマガラ、ソウシチョウ 11 種</p> <p><b>【声を聞いた鳥】</b> ウグイス、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイ、ツツドリ、ハシボソガラス 6 種</p>		
次回以降の予定	7 月 21 日（日）京都御苑アオバズクの営巣 雨天中止。 下見会はありません。		



オオルリに負けな  
いくらい良い声で  
しよ。



穂高湖のプリンス